

平成19年度総会を開催

平成19年8月11日(土)福岡県久留米市ハイネスホテルにおいて「NPO法人戦没者を慰霊し平和を守る会」の平成19年度総会を開催しました。

当日は、総会員数248名のうち、出席者21名(委任状117名)で、高木一希事務局長を議長に選出し、平成18年度の活動報告並びに、平成19年度の活動方針・新役員の選出等確認、決定しました。

平成18年度事業報告書

1. 事業の成果

(1) 慰霊巡拝活動

平成19年度1月、沖縄での遺体収容体験に合わせ、ご遺族とともに慰霊を行ないました。

また、6月には「沖縄慰霊の日」に慰霊祭に参加しました。7月にはフィリピン・レイテ島にて合同慰霊祭を行ないました。

(2) 遺体収容

本年度3回目となりました「沖縄戦戦没者遺体収容体験」に、全国各地の会員と昨年発見した遺品のご遺族など、約45名が参加しました。

遺体収容は、大里城跡近辺で発掘作業を行ない、白骨化した遺体(2体分と思われる)と多数の葉莢やボタンなどを発見しました。

(3) 諸外国友好親善

毎年行なっています「日比合同慰霊祭」を通じて、フィリピン・レイテ島ピリヤバの皆さんと交流を行ないました。また、会員の皆さんからの寄付金や持ち寄られた学用品などをピリヤバのバリエイ小学校に寄付しました。

(4) 平和運動参加

平成18年10月、日本弁護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

会報発行
当会の活動内容の報告及び今後の予定のお知らせとして、会員とのつながりを持つことが出来ました。また、全国の遺族会や全閣僚国会議員などへの働きかけとして、会報を送付しました。

(5) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(6) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(7) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(8) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(9) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(10) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(11) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(12) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(13) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(14) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。

(15) 会報発行

護士連合会に人権救済申し立てを行ない、平成19年6月に第1回目の聴取がありました。

平成19年3月に、事務所を置く佐賀県みやき町北茂安中学校で平和教育の一環として塩川副理事長が講演を行ないました。平成19年5月には、鳥栖市のサンメッセにて「平和憲法と沖縄」を演題に糸数慶子氏を招き、平和講演会を開催し、約230名の方が参加されました。

その他にも、各地で当会会員が平和を守るための講演を行ないました。



総会の様子

平成18年度 特定非営利活動に係る 事業会計収支計算書

(単位：千円)

平成18年8月1日から平成19年7月31日まで
特定非営利活動法人 戦没者を慰霊し平和を守る会

科目	金額 (単位：円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1. 会費・入金金収入		
会費収入	824,000	824,000
2. 寄付金収入		
寄付金収入	2,286,841	2,286,841
経常収入合計		3,110,841
II 経常支出の部		
1. 事業費		
戦没者の慰霊	340,000	
遺骨収集とDNA鑑定の推進	1,749,540	
諸外国友好親善	6,000	
平和運動参加	414,964	
会報戦史発行	294,165	
2,804,669		
2. 管理費		
会議費	59,640	
通信費・輸送費	228,494	
消耗品費	23,731	
新聞図書費	17,576	
諸会費	33,560	
寄付金	20,000	
雑費	16,015	
399,016		
経常支出合計		3,203,685
経常収支差額		-92,844
III その他資金収入の部		
その他資金収入合計	0	0
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計	0	0
当期収支差額		-92,844
前期繰越収支差額		160,626
次期繰越収支差額		67,782
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1. 資産増加額	0	0
2. 負債減少額	0	0
増加額合計	0	0
VI 正味財産減少の部		
1. 資産減少額	0	0
当期収支差額(再掲)	92,844	
2. 負債増加額	0	0
減少額合計	92,844	
当期正味財産増加額(減少額)		-92,844
前期繰越正味財産額		165,126
当期正味財産合計		72,282

2. 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
戦没者の慰霊	慰霊巡拝	1月19日～21日 6月21日～24日 7月26日～30日	沖縄県 フィリピン	10名	戦没者及びその遺族 60万人	340
遺体収容とDNA鑑定の推進	「沖縄戦戦没者遺体収容体験」を開催	1月19日～21日	沖縄県	30名	戦没者及びその遺族 60万人	1,749
	当会に依頼があった遺留品を持ち主に返還	1年間	全国 アメリカ	7名		
諸外国友好親善	レイテ島のバリエイ小学校生徒及び、現地人との交流	1年間	フィリピン・レイテ島	2名	レイテ島 ピリヤバ住人 600人	6
平和運動への参加	人権救済申し立て	10月1日	日弁連	3名	全国民 1億2千万人	414
	北茂安中学校「平和教育」講演 「平和講演会」開催	3月15日 5月26日	みやき町 鳥栖市	15名		
会報及び戦史発行	会報「平和の灯」第10号発行 第11号発行	8月31日 2月29日	事務局	10名	戦没者遺族会等 500人	294

平成19年度 活動方針

国民投票法が成立し、憲法9条の改悪が現実のものとなってまいりました。また、安倍前首相の取り巻きの識者による検討会は、集団的自衛権の行使でアメリカと共に戦争は出来るとの方向を示しました。

一方、自衛隊員入隊希望者が減少し、徴兵制の危機も迫っています。この現実を多くは国民は知らされていません。悲惨な戦争で犠牲になられた方々を慰霊し、平和を守るために設立した当会としては、到底見過ごすことは出来ません。

平成18年度は、当会の活動が広がり、全国各地で講演等を行ない「戦争を風化させない」「平和の尊厳」などを訴えてきました。今年度もより一層積極的に活動していきたいと思っております。

また、戦没者の置かれている悲惨な状況を改善するために、日本弁護士連合会に救済申し立てを行なっていますが、立法化を求めて、対政府交渉を行なっています。

2. 事業の実施に関する事項

(単位：千円)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者数	支出予定額
戦没者の慰霊	戦没者の慰霊巡拝及び慰霊碑の維持管理を行なう	年2回	フィリピン 沖縄	各5名	戦没者及びその家族 100万人	200
遺留品の返還	インターネットを通じた依頼や発掘による遺留品の情報を調査し遺族に返還する	常時	全国 アメリカ	3名	240万人	100
遺体収容とDNA鑑定の推進	今年も「沖縄戦戦没者遺体収容の旅」と名称を改め、戦争を風化させないよう若者に戦争の悲惨さを知ってもらう。また一人でも多くの戦没者を家族の元へ返す為、DNA鑑定が行なえる体制を整えるよう政府に要求する。戦没者の置かれている悲惨な状況を改善する為、「戦没者救済法(仮称)」の制定に向けた運動を、全国のボランティア団体にも呼びかけ、運動を行なう。	年3回 年5回	フィリピン 沖縄 パラオ 硫黄島 全国	50名	戦没者及びその家族 240万人	1,500
諸外国友好親善	フィリピン・レイテ島の人々へ学用品等の寄贈等を行ない、友好親善を図る	年1回	フィリピン レイテ島 ピリヤバ町	2名	フィリピン レイテ島 ピリヤバ町の住民 1万人	100
平和運動への参加	前年度に続き平和講演を行ない、平和な世の中を守るため、戦争の悲惨さを語り継ぐ	年2回	全国	20名	全国民 1億2千万人	100
会報及び戦史発行	当会の活動及び計画を、会員全員に報告。また、戦争を語り継ぐ手段として、機会があれば配布する	年2回	当事務局	10名	2万人	300

平成19年度 新役員

理事長	永田 勝美
副理事長	坂木茂太郎
副理事長	塩川 正隆
理事	川副 正俊
理事	高田 俊秀
理事	高木 一希
理事	川村 博文
理事	桑野智喜人
理事	山本 直樹
理事	矢野 佳運
監事	島 靖彦
監事	西土 純一

「沖縄戦戦没者遺体収容の旅」参加者募集

毎年恒例となりました、沖縄戦戦没者遺体収容の旅(沖縄戦戦没者遺体収容体験)を改めました。今年度も開催します。この活動は、テレビでも取りあげられ、参加を希望される方がたくさん問合せがありました。戦争が風化されようとしていく今、一人でも多くの方々に戦争の悲惨さと戦後の現状を知って頂く為に、是非参加して頂きたいと思っております。

日時
平成20年1月18日(金)～20日(日)

場所
沖縄県

参加費
会員：3万5千円
非会員：5万5千円

申込期限
平成19年10月31日(木)
(先着30名で締め切り)

事務局
0942-89-5325

担当 古賀

※参加希望の方は、事務局までご連絡下さい。詳細をお知らせします。